

「岩の上の土台」

1. はじめに

- ・「地平の説教」の結論「岩の土台」、マタイも同じ「岩の土台」
- ・何が基準か。律法か福音か、神の愛とは。

2. 本文

39 ~ 45 盲人に盲人の手引きができるでしょうか。39 節

- ・盲人は盲人の手引きができるでしょうか。39 節
- ・弟子は自分の師ぐらいにはなるのです。(律法学者とイエス) 40 節
- ・兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁には気がつかないのですか。41、42 節
- ・悪い木は悪い実を結び、良い木は良い実を結ぶ、あなたはどうか。(自己吟味) 43、44 節
- ・人はその実によって分かる。45 節

46 ~ 49

- ・「主よ、主よ」と呼びながら、行わない人。一賜物と聖霊の実。46 節
- ・わたしのもとに来て、わたしのことばを聞き、それを行う人たち。47 節
- ・地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、それから家を建てる。48 節
 - ・聖霊の賜物と聖霊の実。
 - ・マタイ 7 : 21 ~ 23 賜物と実の関係。
 - ・主よ、主よと呼ぶ者。預言をし、悪霊を追い出し、奇蹟をする者。
 - ・わたしはあなたがたを全然知らない。わたしから離れて行け。

3. まとめ

*再度、私たちの基準とは何か。

- ・イエス・キリストを主と告白することと、愛をどのように関係づけるのか。
- ・主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つです。エペソ 4 : 5
私たちは、そのみことばを意志として持たなければならない。それによって、主にある一致が可能となる。
- ・意志として持つためには、①忍耐が必要である。②一致に至るプロセスも考えなくてはならない。例えば「親身に聞く」など参考に。
- ・「知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。」ルカ 10 : 27
- ・人は成長、変化する自由を持つ